

地域貢献活動

富士電機は、社会との信頼関係を一層深めるため、事業活動を通して培った「人」と「技術」を活用し、「次世代育成支援」や「自然環境保護」を重点テーマに、世界の各事業所で地域貢献活動に取り組んでいます。

次世代育成支援

国内では、電機メーカーとして長年培ってきた知見や技術を活かし、科学技術の面白さやものづくりの魅力に触れる機会を提供することを目的に、工場近隣の小学校で、社員が講師となって授業を行う「理科教室」を実施しています。また、小学生・中学生向けの職場体験や工場見学、教員向けの企業研修などの活動に取り組んでいます。

海外では、当社が事業活動を行う東南アジアやインドなどの地域で、理工系大学に対して、ものづくりや製品技術を学ぶ講座の開設や、実験機器(当社製品)の寄贈などの技術支援を行っています。



子供たちに半導体技術を紹介(マレーシア富士電機)

自然環境保護

事業所がある地域を中心に、地球温暖化防止や生物多様性保全の観点から、自然環境保護につながるさまざまな活動を世界各地で行っています。

植樹や森林の間伐、除伐などにより、森林が持つ土砂災害の防止や洪水緩和、二酸化炭素の吸収などの機能を回復させ、保全する森林保全活動を実施しています。また、害獣被害の抑制に向けた耕作放棄地の開拓や、海洋生物の生息地としての機能を保つマングローブの植林など、地球の生態系を守る生物多様性保全活動を展開しています。



森林を育てる活動(富士電機メーカー)

TOPICS

理科教室で発電の仕組みを伝える

川崎工場では、2017年度から毎年小学校で理科教室を開催しています。授業内容は小学6年生向けの「発電の仕組みについて」。川崎工場で生産するタービンや発電機を題材としたオリジナルの教材を使います。2025年度の授業のテーマは「水力発電」。生徒は、ペットボトルや水鉄砲、手作りの羽根やモーターなどを使って、「より大きな電気を作るにはどうしたらいいか」を、実験を通して考えました。

「私たちの仕事でも、水の強さ、羽根の長さ・枚数・形状などさまざまな条件を考えて、発電設備を設置する場所に適した製品を作っています」。授業の最後は実験と会

社の仕事を結び付けて説明。理科を楽しく学びながら、働くことへの興味・関心につなげる工夫をしています。



近隣小学校での理科教室(川崎工場)